

「川場の子どもは川場の宝」をスローガンに、地域の人々が支援する子供教室

群馬県川場村

活動名

川場村子ども教室

関係する学校

川場小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 17人	開始年度 19年度	国庫補助 有	学習支援 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 60人	年間開催日数 20日	国庫補助 有	学習支援 無	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
		実施場所 川場村立川場小学校					開始年度 19年度	放課後児童クラブとの連携 一体型
コミュニティスクール	指定日		委員数		児童生徒数	学級数		

活動の概要・経緯

- ・平成19年に地域の各種機関・団体と幅広く連携して、支援ボランティアの協力を得て、子供教室がスタートした。子供たちの安心・安全で楽しい居場所づくり、また地域の人々の知識や学びを生かして子供たちに伝えることを目的に活動が行われ、現在に至っている。
- ・川場村子ども教室は、放課後子供教室「月曜遊び場」と週末体験活動「おもいっきり探検隊」という二つの活動を実施している。「月曜遊び場」は、教育活動推進員やサポーターが子供たちと一緒に活動したり、見守ったりしている。「おもいっきり探検隊」は、平成26年に土曜日の教育支援体制等構築事業へ移行して、地域の人たちが指導者となり、週末の2～3時間程度、子供たちに様々なスポーツや文化体験等を提供している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・「月曜遊び場」は、子供たちの自由遊びが中心で、教育活動サポーターが子供たちの中に入って一緒に活動したり、安全のため見守ったりしている。活動場所は、「学校支援センター室」、「体育館」、「校庭」の3か所である。また、学童クラブと連携し、学童クラブの指導員も教育活動サポーターとともに活動に参加している。学童クラブと子供教室の一体的な取組は、開始当初から行われており円滑に運営できている。
- ・「おもいっきり探検隊」は、教育委員会事務局の社会教育主事がコーディネーターとなり、地域の方と連携しながら体験教室を開催している。指導者は、文化協会に加入している団体やスポーツ推進委員、婦人会、老人クラブなど多種多様な人たちで、1回の活動につき、平均4～5人が協力してくれている。また、地域の施設を使ったり、昔から伝わる伝統文化を扱ったりする内容も取り入れている。

【実施に当たっての工夫】

- ・「川場村ふれあい学習推進協議会」を年2回開催し、1回目は5月に活動計画を基にしながら協働体制の方向性を確認し、2回目は2月に活動報告を行い、課題等を次年度へ生かしている。また、保護者や子供たちの子供教室への参画意識をもたせるためにアンケート調査を行い、意見を聞きながら計画づくりに役立てている。
- ・年度当初に学校と行政の子供教室担当者が打合せをして指導方針を共通理解し、学校と子供教室が同歩調で子供を育てる環境づくりに努めている。連携する学校側の意見を十分に反映して運営が行われている。
- ・学期ごとに学校、教育活動推進員、教育活動サポーター、学童クラブ指導員、行政の子供教室担当者が情報交換会を開き、子供たちの様子を伝えたり、学校からの要望などを聞いたりしながら、子供たちが楽しく安全に活動できるように体制を整備している。

事業を実施して

- ・学校は、地域の協力者や子供教室の関係者と情報交換の機会を多くもつことで、よりよい信頼関係を築いている。そのため、学校の要望に応じて子供たちのために協力しようという学校支援ボランティアが年々増加している。
- ・子供教室を通して、高学年の子供が低学年の面倒をみたり、男女関係なく活動したりするなど異学年同士の交流が多く見られる。また、わがままを我慢したり、小さい子を優先したりするルールを活動の中で身に付けることで規範意識が育ってきている。
- ・地域に伝わる体験活動や地域の人と関わる機会によって、子供たちは郷土を大切に思う気持ちが育っている。
- ・青少年育成推進員が週末体験教室「おもいっきり探検隊」の指導者として協力するなど、子供を核とした支援体制が広がりを見せ、地域の教育力が向上している。



週末体験「おもいっきり探検隊」 日本の楽器にふれてみよう



週末体験「おもいっきり探検隊」 グラウンドゴルフをしよう